

# 在留外国人統計テーブルデータのご利用方法について

## はじめに

令和5年末から、2種類の在留外国人統計テーブルデータを公表していますが（詳細は、「利用上の注意」をご参照ください。）、本説明では、「在留外国人統計テーブルデータ」（T1）（国籍・地域別 在留資格別 都道府県別 年齢・性別）を基にご説明させていただきます。

## 1. 概要

「在留外国人統計テーブルデータ」（T1）（以下「本データ」といいます。）には、在留外国人数に係る次のデータが入力されています。

- (1) 国籍・地域別
- (2) 在留資格別
- (3) 都道府県別
- (4) 年齢別
- (5) 性別

以上のデータをエクセルのピボットテーブル機能を用いて組み合わせることで、自由にクロス表を作成することができます。

## 2. 利用方法

### (1) データの見方

ダウンロード時には「ピボットテーブル」シートにエクセルのピボットテーブル機能を用いた表が都道府県別、国籍・地域別で表示されています。

合計 / 在留外国人数	列ラベル	01アジア	02アジア	03アラブ首長国連邦	04ミャンマー	05バーレーン	06...
01:北海道	02アフガニスタン	154		0	2830	0	
02:青森県		29		0	328	0	
03:岩手県		10		0	593	0	
04:宮城県		38		0	1240	0	
05:秋田県		19	1	0	130	0	
06:山形県		1	0	0	293	0	
07:福島県		39	1	0	748	0	
08:茨城県		550	0	0	1982	1	
09:栃木県		172	0	0	1171	0	
10:群馬県		50	0	0	2442	0	
11:埼玉県		251	1	0	5228	0	
12:千葉県		2424	0	0	4037	0	
13:東京都		196	44	0	20100	8	
14:神奈川県		114	26	0	3990	4	
15:新潟県		32	0	0	725	0	
16:富山県		4	0	0	492	0	
17:石川県		14	0	0	788	0	
18:福井県		11	0	0	584	0	
19:山梨県		2	0	0	462	0	
20:長野県		4	0	0	753	0	
21:岐阜県		35	0	0	1734	0	

見方：「（令和5年末現在）北海道において在留中のアフガニスタン人は154人」

## (2) 操作方法

主な操作例を記載します。

本データはエクセルのピボットテーブル機能を用いており、本書に記載されているものはピボットテーブル機能の基本の一部のみで、本書に記載されていない機能も存在します。

### ア 表にフィルターを設定する

画面左上にフィルター機能が表示されています。

ダウンロード時は在留資格が「(すべて)」になっており、フィルター機能で「03:教授」を選択すると、在留資格「教授」のみの都道府県別、国籍・地域別在留外国人数が表示されます。

	02アジア	03アジア首長国連邦	02アジア	04ミャンマー	02アジア	05バーレーン	02アジア	06ブータン	02アジア	07パングラデシュ
01:	0	2830	0	0	0	0	5	0	0	284
02:	0	328	0	0	0	0	0	0	0	26
03:	0	593	0	0	0	0	0	0	0	137
04:	0	1240	0	0	0	0	25	0	0	519
05:	1	130	0	0	0	0	0	0	0	12
06:	0	293	0	0	0	0	0	0	0	69
07:	1	748	0	0	0	0	31	0	0	154
08:	0	1982	1	0	0	0	3	0	0	1262
09:	0	1171	0	0	0	0	23	0	0	736
10:	0	2442	0	0	0	0	11	0	0	1716
11:	1	5228	0	0	0	0	8	0	0	3726
12:	0	4037	0	0	0	0	35	0	0	1665
13: 東京都	196	44	20100	8	28	0	28	0	0	6341
14: 神奈川県	114	26	3990	4	29	0	29	0	0	2021
15: 新潟県	32	0	725	0	11	0	11	0	0	125
16: 富山県	4	0	492	0	0	0	0	0	0	164
17: 石川県	14	0	788	0	2	0	2	0	0	217
18: 福井県	11	0	584	0	6	0	6	0	0	110
19: 山梨県	2	0	462	0	0	0	0	0	0	85
20: 長野県	4	0	753	0	8	0	8	0	0	147
21: 岐阜県	35	0	1734	0	1	0	1	0	0	335
22: 静岡県	29	0	3125	0	3	0	3	0	0	503

※フィルターは複数の項目を同時に選択できます。例えば「23:技能実習1号イ」「24:技能実習1号ロ」をどちらも選択すれば、「技能実習1号」をまとめて表示させることもできます。

また、「性別」のフィルター機能を使用することで、選択した性別のみの数値にすることができます。

### イ 国籍・地域別を在留資格別へ変更

次の図のように、ピボットテーブルのフィールドの「列」枠の①「国籍・地域」をクリックしたまま上の枠に移動させ、代わりに上の枠にある②「在留資格」をクリックしたまま「列」枠に移動させます。

このスクリーンショットは、Excelのピボットテーブル設定を示しています。表の行項目は「在留資格」であり、列項目は「国籍・地域」です。右側の「ピボットテーブルのフィールド」タスクパネで、「国籍・地域」が「列」に移動されていることが確認できます。

移動後は次の図のように、表の列項目が在留資格別になります。

このスクリーンショットは、ピボットテーブルの列項目が「在留資格」に変更された後の状態を示しています。表の列項目は「03: 教授」、「04: 芸術」、「05: 宗教」、「06: 報道」、「07: 高度専門職1号イ」、「08: 高度専門職1号ロ」であり、行項目は「在留資格」です。右側の「ピボットテーブルのフィールド」タスクパネで、「在留資格」が「列」に移動されていることが確認できます。

同様の操作で、行列の項目を自由に組み合わせることができます。

また、上記アのフィルター機能に「国籍・地域」の項目を追加する場合は、ピボットテーブルのフィールドの「フィルター」枠に「国籍・地域」を移動させます。

「フィルター」枠に「国籍・地域」を移動させると、「国籍・地域」のフィルター機能が使用できます。

**ウ 列（又は行）に2つの項目を同時に表示させる**

例えば、行に都道府県、列に年齢別・在留資格別の表を表示させたい場合、列に「年齢」「在留資格」を移動させます。

移動後は次の図のようになり、都道府県別、在留資格別、性別の在留外国人数が表示されます。

「列」枠に「在留資格」・「性別」を移動させます。  
 ※この例では、「在留資格」が上、「性別」が下です。  
 「北海道」に「教授」の「男」が172人、「教授」の「女」が103人在留していることが分かります。

用途に応じて、上記ア、イ、ウの操作を組み合わせご利用ください。